

第76号

酪農

とちぎ



- 1 ページ 表紙
- 2 ページ 平成25年 乳代集計結果について
- 3 ページ 農業士認定、豪雪及び突風被害発生
- 4～5 ページ 東西南北
- 5～7 ページ 部課だより
- 8 ページ 理事会だより、お知らせ、市場成績



平成25年乳代集計結果について

生乳生産実績

平成25年1～12月の生乳生産量は21万4584tで、昨年に引続き21万tを超えとなりました。日量の推移(図1)を見ますと、全ての月度において昨年を上回る結果となりました。月別では8月まで

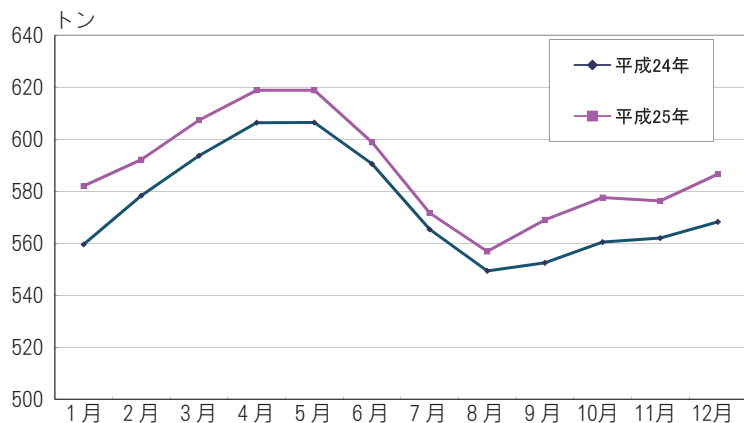


図1 日量の推移

は前年のラインに近づいて行く傾向にありましたが、9月以降は上昇基調にあるようです。乳量増に期待できる状況です。

ここ5年の出荷戸数を表1に示

表1 出荷戸数 (戸)

	平成21年12月	平成22年12月	平成23年12月	平成24年12月	平成25年12月
那須高原支所	353	338	331	325	306
宇都宮支所	103	99	93	93	87
県南支所	114	109	105	103	98
合計	570	546	529	521	491
前年比	-	95.8%	96.9%	98.5%	94.2%

表2 一頭当り乳量 (kg)

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
那須高原支所	8,378.5	8,195.8	8,126.1	8,305.1	8,408.6
宇都宮支所	8,687.6	8,528.9	8,309.7	8,708.3	8,751.0
県南支所	8,411.8	8,171.8	7,988.8	8,327.1	8,139.4
平均	8,433.1	8,241.8	8,115.6	8,367.6	8,388.2

表3 一戸当り飼養頭数 (頭)

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
那須高原支所	62.1	63.1	65.0	66.6	69.3
宇都宮支所	55.8	58.6	58.5	59.8	61.7
県南支所	68.6	70.9	74.6	79.9	83.3
合計	62.1	63.8	65.6	68.0	70.6
前年差	-	1.7	1.8	2.4	2.6

しました。残念ながら毎年出荷戸数は減少傾向にあります。後継者不足、年齢による引退などが主な理由となっています。今後もこの傾向が続くと予想されます。表2は動態調査を基に計算した経産牛一頭当り乳量の推移です。ここ数年夏は酷暑となっているものの、

一頭当たりの乳量は落ちておらず、この結果は皆さんの努力の賜物と感じております。表3に

は一戸当りの飼養頭数(搾乳、乾乳、未經産、育成の合算頭数)の推移を示しました。年々大型化が進んでいますが前年差も増加傾向にあり、加速度的に大型化が進んでいることが読み取れます。

乳価

図2に支払乳価(手数料等控除後、乳質加算前)を示します。ほぼ前年通りの推移ですが、10月からの飲用向け5円値上げ(飲用向け以外は据置により5円上がらず)により、10月からグラフが上に振れています。

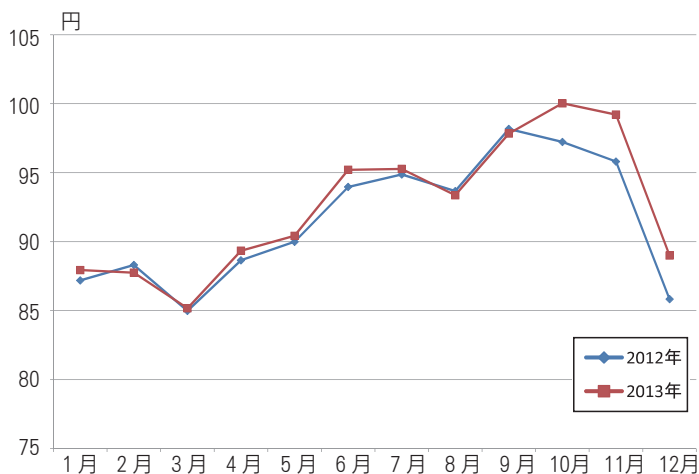


図2 支払乳価



農業士認定式開催

平成25年度県農業士認定式が1月9日県公館で行われ、農業士9名、女性農業士5名、名誉農業士10名が新たに認定され、福田富一知事より認定証書が授与されました。

今年度の認定により、農業士は173名、女性農業士は114名、名誉農業士は170名となります。本組合からも女性農業士1名、名誉農業士2名が次の通り認定を受けました。



小林さんご夫妻



高崎さんご夫妻



永山さんご夫妻

女性農業士

小林 峰子さん (芳賀町)
(配偶者 小林 隆志さん)

名誉農業士

高崎 和夫さん (大田原市)
(配偶者 高崎 洋子さん)
永山 優子さん (那須町)
(配偶者 永山 圭吾さん)

今回認定された皆様には、心よりお祝いと、農業社会における農村地域の活性化等、更なるご活躍を祈念申し上げます。

2/14〜15 南岸低気圧による豪雪及び突風被害発生!

日本列島の南海上を進む大型低気圧の影響で関東甲信の山間部付近に強い寒気が流れ込み、今回のような突風を伴った豪雪をもたらした現象が広範囲で発生した。これを南岸低気圧と言うらしい。この現象が日本各地で大変な被害をもたらした。

当組合管内でも、豪雪及び停電

により県北地域を中心に集乳できない場所が発生し生乳の廃棄が発生したり、全支所管内で建物の破損又は倒壊等甚大な被害が発生しました。組合では、被災組合員に対し理事会において生乳廃棄に対し対策を協議し、廃棄量の99%迄支援することになりました。

また他に、県や国からも様々な支援対策が発令されていることにより、一刻でも速い復興ができることを祈念する次第です。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。



被災の一部より

東西南北

那須高原支所

第12回那須高原支所ボウリング大会

2月6日、那須高原支所活動推進協議会（臼井勉会長）主催による第12回ボウリング大会が、黒磯ボウル（那須塩原市）及び王冠ボウル（大田原市）の2会場で160名の参加のもと盛大に開催されました。

当日は、暦の上は立春を過ぎたにもかかわらず大変寒い日となりましたが、各会場では組合員とその家族・従業員などが参加し、和やかな雰囲気の中でも白熱したゲームが行われました。

競技終了後は、榊原会館に会場を移し懇親会が行われ、近況等情報交換しながらも各テーブルから笑い声が絶えない懇親会となりました。

また表彰式では、ボウリング場ごとに団体賞表彰と個人賞表彰が行われ、関係団体から協賛して頂いた沢山の賞品が受賞者に贈られました。

依然酪農を取り巻く情勢は厳しい中ではありますが、年に数回の全体交流会とあって、各人明日への活力となる楽しい雰囲気の中、



終了しました。
なお、各部の優勝は次の通りです。

- 黒磯ボウル
 - 団体の部 くらいそ支部
 - 個人の部
- 王冠ボウル
 - 団体の部 塩原支部
 - 個人の部

- 男性 高塩 浩典（塩原）
- 女性 田代ひで子（黒羽）

- 男性 室井 謙一（高林）
- 女性 斉藤日出子（青木）

県南支所

女性会2支部合同交流会を開催

〜いつまでも 健康で 美しく〜

2月13日、女性会の芳賀支部（増山英子支部長）と河内南部・下都賀支部（海老原治美支部長）の合同交流会が、真岡市のフォーシーズン静風において開催されました。

芳賀支部28名、河内南部・下都賀支部14名の計42名が参加し、今年度は全米エクササイズ・スポーツ・フィットネス・トレーナーである向吉利洋先生をお招きし、誰でも簡単にできるストレッチ方法について、講演していただきました。

はじめに海老原支部長より「毎日、作業に追われる中、今回のストレッチ法を学んで、これからも健康を保って欲しい」との挨拶があり、講演会開始となりました。身体の歪みは、気付かぬうちに腰や肩の痛みにつながり、代謝も悪くなり、生活習慣病を引き起こします。先生の教えてくださったストレッチ法は、足の指先をグー（指先を丸める）・チョコキ（親指を上下に開く）・パー（指全体をぱっと開く）に動かす運動、足首を左右に振る運動等です。椅子に座ったままや入浴中でも、簡単にできるもので、この運動を毎日繰



り返していると、血行が促進されリンパの流れも良くなります。更に、足の感覚も優れてくるほか、ふくらはぎの筋肉も鍛えられ、身体をしっかりと支えられるようになり、腰や膝の痛みが解消され、より若々しく美しく、いつまでも健康を維持することができます。

会場内は、先生のユニークな会話と、実演を交えたわかり易い指導により、終始笑いの絶えない講演会となりました。

講演終了後には、懇親会が行われ、美味しい和食を囲いながら親睦が深められ、大変有意義なひと時を過ごせたことと思います。



宇都宮支所

手作りチーズ講習会開催

女性会那須南支部は、昨年12月16日に那須烏山市保健福祉センターにて開催しました。今回はその際好評だった生乳を使って手軽に作れる本格ナチュラルチーズレシピをご紹介します。「牛乳の消費拡



松井 三二 氏



大 我が家から」ぜひご家庭で挑戦してみてください。

家庭で簡単に作れる♪

～即製モッツァレラチーズレシピのご紹介～

講師：横浜市在住のチーズ作り名人 松井三二さん(83)
乳業界を退職後、独自に研究され特許を取得。とても情熱に溢れた元気な方です！

〈用意するもの〉

- ・牛乳1ℓ ※生乳(バルク乳)または低温殺菌牛乳。高温殺菌は不可。
- ・低脂肪乳100～200ml ※乳脂肪率3.2%程度に調整
- ・食酢70ml+水70ml(A)
- ・鍋2ℓ位 2ケ ・温度計 ・片手ザル ・木ベラ ・クロス
- ・ザル(置き型) ・軍手 ・ゴム手袋 ・サラップ



- ① 牛乳1ℓに低脂肪牛乳を混ぜ火にかける。
- ② 50℃まで加熱したら火を止め、ヘラで静かにゆっくり攪拌しながら(A)を4～5回に分けて投入する。
- ③ ホエーと固形分が完全に分離したら火にかけ、片手ザルで固形分をまとめながら60℃まで温度を上げる。
- ④ 60℃に達したら火を止め、鍋に水道水を流し入れながら冷やし、クロスを敷いたザルに固形分を上げ、水分をよく搾る。
- ⑤ 別の鍋に80℃の湯を用意する。
- ⑥ 軍手の上にゴム手袋をはめ、⑤に丸めた固形分を7～8秒入れ、片手ザルで取り出し手で揉む。
- ⑦ ⑥の作業を4～5回繰り返し、弾力が出てくるまで揉む。
- ⑧ 表面がなめらかでよく伸びるようになったら出来上がり。
- ⑨ 細長く整形しラップに包んで冷蔵する。※3～4日以内に消費する。

★レシピの詳細やご質問等は宇都宮支所まで。(写真あります。)

★松井さんは随時出張講習会を受け付けておられます！今後の活動にぜひ！

業務部 部課だより

『酪肉研枝肉共励会』開催

2月1日、筑西食肉センター及び全日本農協畜産公社にて、第23回関東甲信越酪肉経営技術研究会・乳用種経産肥育牛枝肉共励会が開催されました。

今回の出品頭数は23頭で、平均枝肉重量は397kgでした。審査の結果、当組合の海老原哲夫さん(下野市)の出品牛が最優秀賞に輝きました。枝肉重量506kgでロース面積が今共励会中最大の48cm²で、ばらの厚さ・皮下脂肪の厚さも程よく、体型バランス良好の個体でありました。

審査にあたった日本食肉格付協会の若菜氏より、総評として外観、肉質と

もに兼備した評価の高い枝肉もあった反面、外観は良いが、脂肪交雑、肉の締りに難のあるもの、あるいは肉質は良いが、肉付が物足りないものなど様々であったと報告がありました。



共励会上位入賞者一覧

褒賞	所属	出品者名	枝肉重量(kg)	単価(円)
最優秀賞	県南支所	海老原哲夫	506	600
優秀賞1席	伊那酪農	田畑 明	405	580
優秀賞2席	栃酪	花塚 強志	480	560
優良賞1席	那須高原支所	南條 弘充	478	550
優良賞2席	那須高原支所	北向 秀雄	437	550
優良賞3席	赤城酪連	斎藤 秀明	585	530



乳牛飼養動態調査

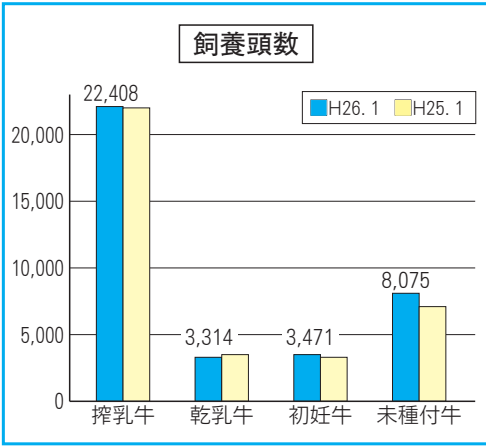
1月1日現在の乳牛飼養動態調査を実施した結果が取りまとめられましたので、以下のとおり報告します。

1 出荷者戸数について

前年1月と比較すると酪農中止は29戸(団体公共を除く)で新規加入が1戸あり、差し引き28戸の減少となった。廃業の理由は、高齢や後継者がいない9戸、経営不振や他産業への転業5戸、経営不振6戸、病気療養その他9戸であった。出荷者は前年比5.4%減の487戸となった。なお、酪農中止者29名の廃業時の総頭数は514頭であった。

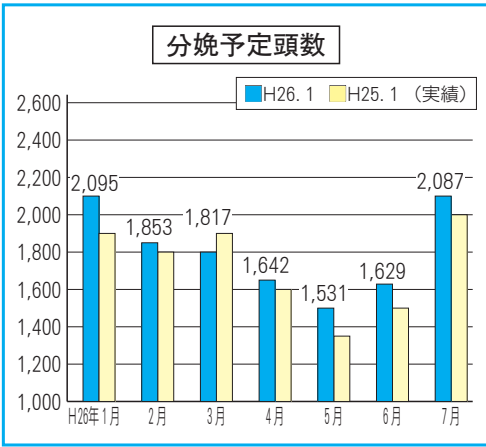
2 飼養頭数について

団体を除く総飼養頭数は、前年1月より977頭多く前年比102.7%の3万7268頭と前年7月と比べても増加傾向であった。内訳は、経産牛は前年1月比1.6%増加し2万5722頭、自家



3 分娩頭数について

7月までの分娩予定頭数は、前年7月実績に比べ580頭増加し1万2654頭となった。前年比105.5%の増加である。3月までの前年比5.3%減で101頭少なくなった。このうち、例年最も少ない5月の分娩予定頭数が13.7%増で1,642頭と増加している。また、1月の出荷乳量が少なくとも昨年を上回る。平成26年度上期は少なくとも昨年



乳牛飼養動態調査表

(平成26年1月1日現在)

支所別	調査年月	出荷者数	飼養頭数								1戸平均飼養頭数	繁殖和牛経産牛頭数	月別分娩予定頭数							
			経産牛			自家育成		外部預託					合計	(カッコ内は内数で判別精液頭数、またH25.1は実績頭数)						
			搾乳	乾乳	小計	初妊	未種付	初妊	未種付	1月				2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
那須高原	H26.1	304	13,907	2,003	15,910	1,843	3,894	481	1,184	23,312	76.7	567	1,234 (59)	1,165 (61)	1,109 (62)	1,083 (44)	1,028 (34)	1,097 (40)	1,338 (58)	8,054 (358)
	H25.1	323	13,116	2,038	15,154	1,669	3,826	459	1,036	22,144	68.6	631	1,155	1,181	1,187	1,025	899	1,000	1,226	7,673
	増減	▲19	▲791	▲35	▲756	▲174	▲68	▲22	▲148	▲1,168	▲8.1	▲64	▲79	▲16	▲78	▲58	▲129	▲97	▲112	▲381
宇都宮	H26.1	86	3,084	459	3,543	498	1,303	90	279	5,713	66.4	67	315 (15)	239 (9)	230 (17)	189 (16)	184 (7)	188 (8)	247 (16)	1,592 (88)
	H25.1	92	3,173	475	3,648	510	1,184	77	273	5,692	61.9	130	275	211	252	187	171	181	258	1,535
	増減	▲6	▲89	▲16	▲105	▲12	▲119	▲13	▲6	▲21	▲4.6	▲63	▲40	▲28	▲22	▲2	▲13	▲7	▲11	▲57
県南	H26.1	97	5,417	852	6,269	458	1,196	101	219	8,243	85.0	26	546 (7)	449 (9)	478 (9)	370 (7)	319 (7)	344 (10)	502 (15)	3,008 (64)
	H25.1	100	5,551	964	6,515	467	1,120	100	253	8,455	84.6	26	501	427	479	369	277	325	488	2,866
	増減	▲3	▲134	▲112	▲246	▲9	▲76	▲1	▲34	▲212	▲0.4	▲0	▲45	▲22	▲1	▲1	▲42	▲19	▲14	▲142
小計	H26.1	487	22,408	3,314	25,722	2,799	6,393	672	1,682	37,268	76.5	660	2,095 (81)	1,853 (79)	1,817 (88)	1,642 (67)	1,531 (48)	1,629 (58)	2,087 (89)	12,654 (510)
	H25.1	515	21,840	3,477	25,317	2,646	6,130	636	1,562	36,291	70.5	787	1,931	1,819	1,918	1,581	1,347	1,506	1,972	12,074
	増減	▲28	▲568	▲163	▲405	▲153	▲263	▲36	▲120	▲977	▲6.1	▲127	▲164	▲34	▲101	▲61	▲184	▲123	▲115	▲580
※1 団体	H26.1	3	37	9	46	8	27	0	0	81	27.0	27	1 (0)	6 (0)	0 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (0)	6 (0)	22 (0)
	H25.1	4	72	48	120	25	57	0	0	202	50.5	26	3	4	3	2	1	5	5	23
	増減	▲1	▲35	▲39	▲74	▲17	▲30	▲0	▲0	▲121	▲23.5	▲1	▲2	▲2	▲3	▲1	▲2	▲2	▲1	▲1
合計	H26.1	490	22,445	3,323	25,768	2,807	6,420	672	1,682	37,349	76.2	687	2,096 (81)	1,859 (79)	1,817 (88)	1,645 (67)	1,534 (48)	1,632 (58)	2,093 (89)	12,676 (510)
	H25.1	519	21,912	3,525	25,437	2,671	6,187	636	1,562	36,493	70.3	813	1,934	1,823	1,921	1,583	1,348	1,511	1,977	12,097
	増減	▲29	▲533	▲202	▲331	▲136	▲233	▲36	▲120	▲856	▲5.9	▲126	▲162	▲36	▲104	▲62	▲186	▲121	▲116	▲579

※1 H26.1の団体件数は高校2校、大学1校、H25.1の団体件数は高校2校、大学1校、栃木県畜産酪農研究センター1ヵ所



生乳販売課

平成26年1月度の組合生乳生産量は、昨年同月乳量と比較し102・7%（1万8533t）と、2年3ヶ月連続し前年を上回る生産となりました。また、累計の受入乳量は、那須高原支所10万9503t（前年比104・2%）宇都宮支所2万6453t（前年比99・7%）、県南支所4万3714t（前年比99・1%）、合計で17万9670t（前年比102・2%）となりました。

出荷者数は、前年同月より29戸減の489戸（内、学校3校）でした。

また、1月度の乳質は、脂肪率については前年を上回りましたが、無脂固形分率については前年を0・02ポイント下回り、細胞数は前年と同様でした。

尚、1月迄の累計不適合件数は962件となり、前年（1078件）を大きく下回りました。

関東生乳販連の1月総受託乳量は、生産量の減（15ヶ月連続）により、前年比97・8%と2147t程減少し、累計でも98・4%の状況です。

用途別の販売数量は、飲用向けが前年比96・4%と5ヶ月連続で

前年を下回りました。加工率は16%と1・56%前年を上回る値でした。

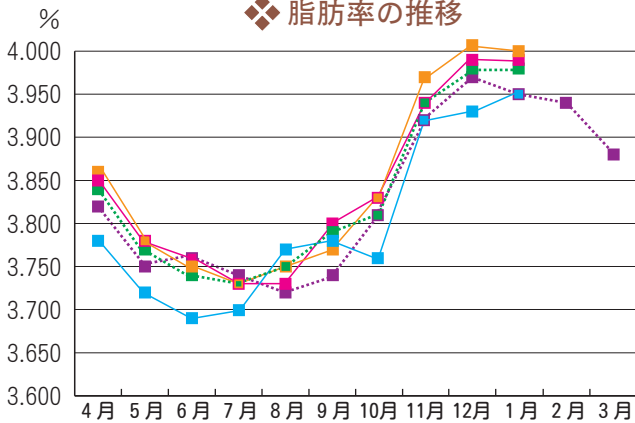
また、全国の生産量については北海道をはじめ全国的にマイナス傾向で推移しており、今後しばらくはこの状況が続く予想です。

尚、平成26年1月の生産量・乳質、関東生乳販連の用途別販売数量は別表のとおりとなっております。

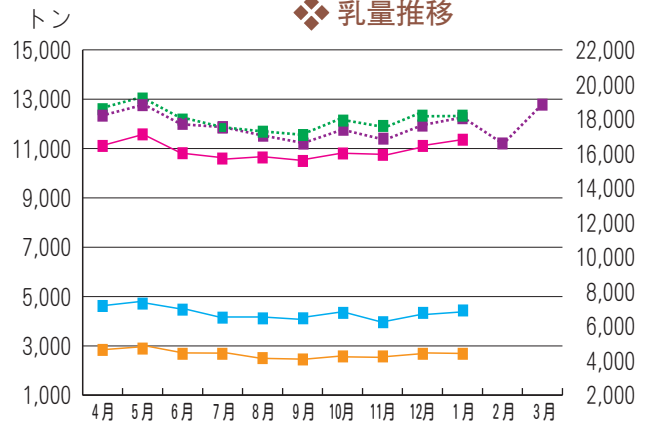
関東生乳販連用途別販売数量 (単位: kg・%)

用途	1月実績	前年実績	前年比	累計実績	前年同期実績	前年比
飲用牛乳向け	67,406,457	69,901,357	96.4	700,616,527	698,670,396	100.3
(うち学校向け)	10,825,417	11,044,099	98.0	104,133,573	106,554,317	97.7
はっ酵乳向け	12,630,227	13,079,762	96.6	134,706,945	142,350,811	94.6
特定乳製品向け(加工)	13,541,701	12,315,508	110.0	88,540,015	92,761,876	95.4
(うち委託加工向け)	0	490,962	-	0	751,482	-
生クリーム向け	1,990,421	2,430,456	81.9	18,757,673	24,089,784	77.9
チーズ向け	58,127	47,234	123.1	648,259	693,377	93.5
全乳哺育向け	0	0	-	0	0	0.0
総受託乳量	95,626,933	97,774,317	97.8	943,269,419	958,566,244	98.4
加工比率	14.16	12.60	-	9.39	9.68	-

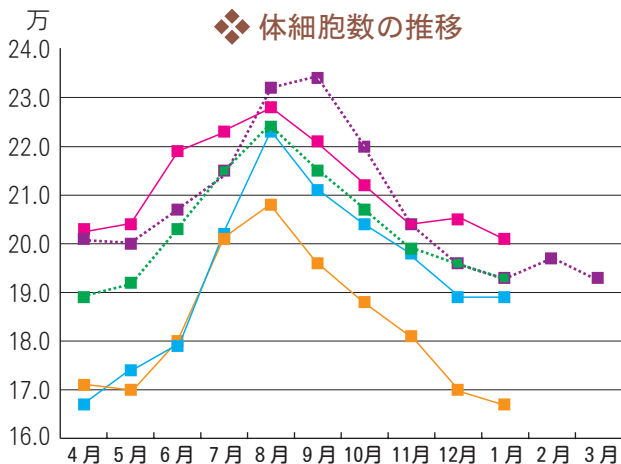
◆ 脂肪率の推移



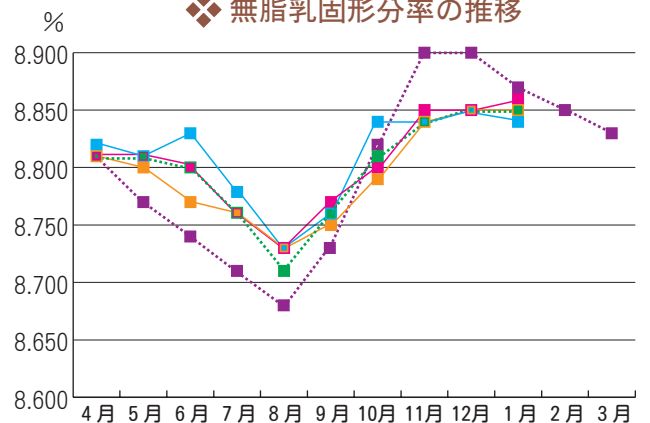
◆ 乳量推移



◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



理事会だより

12月度理事会（12月27日）

報告事項

- (一) 組合員加入について
- (二) 業務経過報告について
- (三) 組合資金貸付について
- (四) 組合プール乳価について
- (五) 年末手当の支給について
- (六) 東京電力原発事故農畜産物損害賠償について

協議事項

- (一) 11月度事業実績について
- (二) 平成26年度配合飼料・粗飼料及びTMR飼料供給量別利用奨励措置について
- (三) 平成25年度組合購買利用推進女性研修会の実施について
- (四) 組合と理事との契約について

1月度理事会（1月29日）

報告事項

- (一) 組合員加入について
- (二) 業務経過報告について

- (三) 組合資金貸付について
- (四) 組合プール乳価について
- (五) 東京電力原発事故農畜産物損害賠償について
- (六) 生乳生産管理チェックシート記帳・記録状況について
- (七) 乳牛飼養動態調査結果について
- (八) 子会社及び関連法人等の第3四半期事業実績について
- (九) 関東生乳販連情報について

協議事項

- (一) 12月度及び第3四半期事業実績について
- (二) 第13回酪農まつりについて

2月度理事会（2月28日）

報告事項

- (一) 組合員加入について
- (二) 業務経過報告について
- (三) 組合資金貸付について
- (四) 組合プール乳価について
- (五) 2月15日豪雪に伴う被害状況について
- (六) 東京電力原発事故農畜産物損害賠償について
- (七) 役員報酬等審議会答申について
- (八) 関東生乳販連情報について

- (九) 平成26年度畜産物価格及び主要な関連対策について

協議事項

- (一) 1月度事業実績について
- (二) 平成26年度生乳計画生産について
- (三) 2月15日豪雪被害に対する支援策について

お知らせ

第13回酪農まつり

平成26年4月12日（土）
酪農とちぎ ふれあい牧場

平成27年4月新規採用職員募集

採用予定者

平成27年3月末大学・短大の卒業見込者及び既卒者 若干名

願書受付期間

平成26年4月末日まで

採用試験日時

一次（筆記）
平成26年5月17日（土）
二次（面接）
平成26年5月28日（水）

詳細については、当組合ホームページにてご確認ください。

お問い合わせ先

☎ 028-660-2211
総務部まで

2月度 ホクレン初妊牛市場成績（単位：千円（税込））

市場名	開催日	出場頭数	成立頭数	取引率	平均価格	（そのうちET牛）		
						出場頭数	成立頭数	平均価格
十勝	2月5日	531	432	81.4%	574	72	57	673
根室	2月6日	494	418	84.6%	561	36	25	637
北海道	2月7日	137	129	94.2%	519	6	6	609
豊富	2月13日	312	209	67.0%	528	4	2	517
十勝	2月19日	701	581	82.9%	585	86	73	683
北見	2月20日	387	255	65.9%	526	5	-	-
釧路	2月26日	305	251	82.3%	547	8	6	684
根室	2月27日	441	338	76.6%	568	7	7	694
合計		3,308	2,613	79.0%	560	224	176	669
前月		2,255	1,961	87.0%	554	141	115	668
前年同月		3,401	2,391	70.3%	537	162	145	683

初妊牛の今後の動向は、5月後半～6月分分娩が中心となります。北海道内での購買需要も高く、特にF1腹を中心に荷動きが活発化しているため高値が予想されます。導入を希望される方は、分娩腹の条件、価格等に十分余裕を持ってお申込み下さいませよう、よろしくお願いします。

2月度 県内家畜市場成績（単位：円（税込））

市場名	種別	出場頭数	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均	前回比
（2/25）	F1雄	124	124	61	225,750	100,800	167,348	▲12,248
	F1雌	90	86	53	160,650	73,500	109,762	▲9,618
館林	ホルス雄	1	1	89	-	-	46,200	20,650
	F1雄	16	16	97	247,800	170,100	209,738	1,663
	F1雌	12	12	90	156,450	119,700	141,400	▲4,117

2/15の那須市場は雪の影響で頭数が集まらず、反動で2/20は頭数も多く購買者も集まり、その影響で平均相場は変動しています。全国的に出回り不足と堅調な素牛相場や枝肉相場高を背景に、初生牛の取引価格は高値相場が続いています。

